

コース名	若手リーダー研修【基本編】 ～組織を引っ張る「原動力」となる！～				
研修のねらい	厳しい経営環境の中で企業が将来にわたって発展し続けていくためには、組織の力を磨いていく必要があります。そのためには、企業の未来を支える若手社員が自律的、積極的に業務を推進し、リーダーとして活躍できる能力や個性を高めていくことが重要です。 本研修では、将来、組織の中心となる若手リーダーが、周囲に積極的に働きかけ、チームの目標達成を推進していくために、上司の補佐や後輩・部下指導のスキル、チームでの仕事の進め方について学びます。また、将来、組織の中心となるために、「理想のリーダー像」を目指した今後の行動を考えます。				
研修の特長	・ 若手リーダーとしての立ち位置を理解して、職場の中核の人材へ成長するための意識改革につながります。 ・ 後輩指導のポイントや上司との連携について学べます。 ・ チーム内のまとめ役として、周囲を巻き込む仕事の進め方が身につきます。				
会場	中小企業基盤整備機構 本部 9階会議室（東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル）				
研修期間	2026年2月17日(火曜)～2月18日(水曜)（2日間） (詳細)第1回2026年2月17日(火曜),第2回2月18日(水曜)				
対象者	管理者候補、新任管理者 ・ 職場やチーム内に後輩や部下がいる方 ・ 次代の管理者としての役割が期待される方 ・ 自身の仕事に対する意識や行動を変えたい方 ・ あらゆる業種の方が受講できます	定員	20 名	受講料	22,000 円

日付	時間	科目	内容	講師
2/17 (火)	8時50分～9時00分	オリエンテーション		菅生 将人 中小企業診断士・調理師
	9時00分～17時00分 (昼休 12時30分～13時30分)	若手リーダーに求められる役割	組織人としての認識を深めるとともに、自分自身の立ち位置をとらえ直し、若手リーダー（管理者候補）としての自覚と求められる役割を認識します。 ・ 組織人としての認識を深める ・ 若手リーダーに求められる役割と心構え ・ 自身の振り返り（自己理解）	
		組織の力を引き出すフォローシップとリーダーシップ	上司や部下との関わり方を学び、若手リーダーとしての行動スキルを身に付けます。 ・ リーダーシップとフォローシップ ・ フォロワーとして上司を補佐する ・ リーダーとして後輩（部下）を指導・支援する	
2/18 (水)	9時00分～17 時00分 (昼休 12時30分～13時30分)	目標を達成するチームワークづくり	チームを動かすリーダーには、自分のチームのことだけでなく組織全体のことを把握し、かつ組織とチームとのつながりを意識する視点が求められます。チームを動かすための目標の共有と仕事の進め方について学びます。 ・ 目標の共有と周囲との関係づくり（コミュニケーション） ・ チームワークを発揮する仕事の進め方	菅生 将人 中小企業診断士・調理師
		理想のリーダーとは	2 日間を通して学んだリーダーとしてのノウハウを振り返り、グループワークを通して理想のリーダーをまとめます。 ・ リーダーには何が必要か？（演習） ・ これからの行動プランの検討	
	17時00分～17時10分	修了証書の授与		

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
菅生 将人 (すごう まさと) 中小企業診断士・調理師	大学卒業後、総合物流企業、食品メーカー、築地市場内荷受に勤務し、主に企画営業・リテールサポートを担当。中小企業診断士の資格取得をきっかけに、2011年に独立。横浜市の地場コンサルティングファームの役員を経て、現在は個人として中小企業支援活動に従事している。営業支援はもちろん、自身の経験を活かした創業支援や、新入社員研修・若手リーダー研修を得意とする。2016年より、家業である株式会社菅生食品（魚介類卸売業）の代表取締役も務める。中小企業大学校講師、東京電機大学創業支援施設インキュベーションマネージャー。